

## 第41期中間株主通信

平成19年4月1日から  
平成19年9月30日まで

### 株式のご案内

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
**定時株主総会** 6月に開催  
**基準日** 定時株主総会 3月31日  
          期末配当 3月31日  
          中間配当 9月30日  
          その他必要ある場合は、あらかじめ公告して定める一定の日  
**公告方法** 電子公告とし、当社ホームページ (<http://www.consec.co.jp>) に掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。  
**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
                  三菱UFJ信託銀行株式会社  
**同事務取扱場所** 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号大阪三菱ビル  
                  三菱UFJ信託銀行株式会社  
                  大阪証券代行部  
                  電話（通話料無料）0120-094-777  
**同取次所** 三菱UFJ信託銀行株式会社 本店および全国各支店  
          野村證券株式会社 本店および全国各支店  
**単元未満株式の買取請求および売渡請求** 単元未満株式の買取請求および売渡請求は、上記株主名簿管理人事務取扱場所および取次所にて受付けております。  
          なお、株式会社証券保管振替機構をご利用されている場合は、お取引の証券会社にお申し出下さい。

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。  
電話（通話料無料）0120-244-479（本店証券代行部）  
                          0120-684-479（大阪証券代行部）  
インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>



ホームページアドレス <http://www.consec.co.jp>

**CONSEC** 株式会社コンセック

## 時代のニーズに応える技術で 次世代の世界へ飛翔します。

### CONTENTS

株主の皆様へ	1
連結財務情報	3
単独財務情報	4
連結財務データ	5
会社の概況	6

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第41期中間期における事業の概況につきましてご報告を申し上げます。

当中間期における我が国の経済は、企業収益の改善を背景に民間設備投資が増加し、新卒採用等の雇用情勢も良化するなど景気は緩やかながらも拡大基調を維持いたしました。一方、原油価格の上昇や世界的な株式市況の急落など、景気全体の先行きは不透明感が強まり、個人消費は低迷いたしました。

当社グループの関連する土木建設業界におきましては、民需主導による建設投資が都市部に集中する一方で、地方では依然として公共工事が低水準にとどまり、新規住宅建設も伸びず、建設需要の地域間格差は更に拡大する中、受注獲得競争は一層厳しい状況に推移いたしました。

このような中、当社グループといたしましては、引き続き中国子会社生産による高品質で低価格製品の市場浸透を進め、その競争力を活用して新規需要への拡大をはかってまいりました。また特殊工事分野では民間施設に広がってきた耐震補強リニューアル工事等の需要増に対処し、ダイヤモンドワイヤーによる金属構造物の切断という新分野を確立し、現在、鋭意その独自の施工技術の用途拡大に取り組んでおります。また介護事業やIT関連事業などグループ企業の相互連携を推進し、組織営業力を強化いたしました。

その結果、当中間期の決算概況は以下のとおりとなりました。

	〔第41期中間期〕	〔第40期中間期〕	〔前年同期比〕
売上高(連結)	4,785百万円	4,850百万円	98.7%
営業利益(連結)	5百万円	25百万円	20.9%
経常利益(連結)	31百万円	18百万円	177.4%
中間純利益(連結)	△6百万円	0百万円	—

(注) 中間純利益はマイナスのため前年同期比を表示しておりません。

売上高におきましては、特殊工事は順調に伸びましたが、住宅資材等の建設・生活関連消費材の低下を補うに至らず4,785百万円(前年同期比98.7%)となりました。損益面におきましては、徹底した自社製品の拡販強化に努めるとともに営業費用の徹底削減を推進いたしました。営業利益は5百万円(前年同期比20.9%)にとどまり、経常利益は31百万円(前年同期比177.4%)、中間純利益は△6百万円となりました。

事業別の売上高は次のとおりです。

	〔第41期中間期〕	〔第40期中間期〕	〔前年同期比〕
切削機具事業	1,677百万円	1,693百万円	99.0%
特殊工事業	681百万円	556百万円	122.5%
建設・生活関連品事業	1,786百万円	1,961百万円	91.1%
その他の事業	641百万円	640百万円	100.2%

株主の皆様のご支援にお応えすべく鋭意努力してまいりましたが、上記の決算状況により誠に不本意ながら中間配当金につきましては、前回と同様に実施を見送らせていただきたいと思います。ご了承賜りますようお願い申し上げます。

下半期の見通しにつきましては、金利の先行きや為替相場の動向など社会経済情勢に懸念がありますが、引き続き積極的な民間設備投資に支えられ、総じて国内景気は緩やかに拡大するものと思われませんが、原油価格高騰による物価上昇ならびに米国サブプライムローンに端を発した世界的な景気低迷の懸念もあり、経済環境は厳しくなると考えられます。当社グループとしましては、切削機具事業において海外生産機種の徹底拡販および新開発機種の投入により利益効率を高めるとともに、特殊工事業においても専門技術を活かした特殊工事の拡販に努めてまいります。連結子会社においても新規介護事業の寄与増加ならびに海外生産子会社の増産効果など、グループ企業の収益基盤の促進強化をはかり、グループ全体の利益効率経営に全力をあげてまいり所存であります。

株主の皆様におかれましては今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月



代表取締役社長

佐々木 孝隆

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期	前中間期	前期
		(平成19年9月30日現在)	(平成18年9月30日現在)	(平成19年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>				
流動資産		5,587	5,758	5,978
固定資産		6,728	6,802	6,807
資産合計		12,316	12,560	12,785
<b>(負債の部)</b>				
流動負債		3,610	3,875	3,911
固定負債		621	663	717
負債合計		4,231	4,538	4,629
<b>(純資産の部)</b>				
株主資本		8,043	7,981	8,096
資本金		4,090	4,090	4,090
資本剰余金		3,965	3,965	3,965
利益剰余金		41	△ 23	93
自己株式	△	53	△ 52	△ 52
評価・換算差額等	△	58	△ 50	△ 26
その他有価証券評価差額金	△	68	△ 50	△ 31
為替換算調整勘定		10	1	5
少数株主持分		99	91	86
純資産合計		8,085	8,022	8,156
負債及び純資産合計		12,316	12,560	12,785

中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで) (単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定		
平成19年3月31日残高	4,090	3,965	93	△ 52	8,096	△ 31	5	86	8,156
中間連結会計期間中の変動額									
剰余金の配当			△ 46		△ 46				△ 46
中間純利益			△ 6		△ 6				△ 6
自己株式の取得				△ 1	△ 1				△ 1
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						△ 37	6	13	△ 19
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△ 52	△ 1	△ 53	△ 37	6	13	△ 71
平成19年9月30日残高	4,090	3,965	41	△ 53	8,043	△ 68	10	99	8,085

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。

中間単独貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期	前中間期	前期
		(平成19年9月30日現在)	(平成18年9月30日現在)	(平成19年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>				
流動資産		4,964	5,082	5,323
固定資産		6,811	6,843	6,884
資産合計		11,775	11,924	12,207
<b>(負債の部)</b>				
流動負債		3,273	3,492	3,550
固定負債		502	506	579
負債合計		3,775	3,999	4,129
<b>(純資産の部)</b>				
株主資本		8,071	7,978	8,112
資本金		4,090	4,090	4,090
資本剰余金		3,965	3,965	3,965
利益剰余金		68	△ 26	108
自己株式	△	53	△ 52	△ 52
評価・換算差額等	△	71	△ 52	△ 33
その他有価証券評価差額金	△	71	△ 52	△ 33
純資産合計		8,000	7,925	8,078
負債及び純資産合計		11,775	11,924	12,207

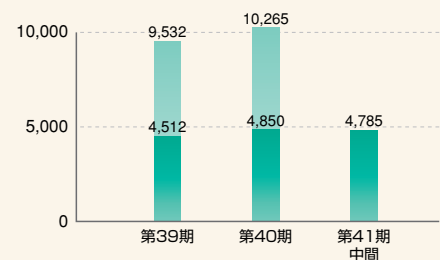
中間単独株主資本等変動計算書

当中間会計期間(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで) (単位:百万円)

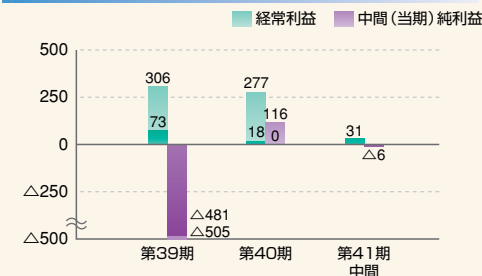
	株主資本						評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式		
		資本準備金	その他資本剰余金	その他利益剰余金	繰越利益剰余金			
平成19年3月31日残高	4,090	3,552	413	108	△ 52	8,112	△ 33	8,078
中間会計期間中の変動額								
剰余金の配当				△ 46		△ 46		△ 46
中間純利益				6		6		6
自己株式の取得					△ 1	△ 1		△ 1
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)							△ 37	△ 37
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	△ 40	△ 1	△ 41	△ 37	△ 78
平成19年9月30日残高	4,090	3,552	413	68	△ 53	8,071	△ 71	8,000

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。

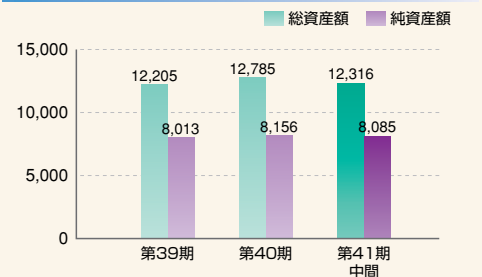
売上高 (単位:百万円)



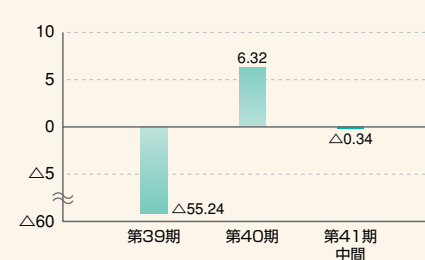
経常利益/中間(当期)純利益 (単位:百万円)



総資産額/純資産額 (単位:百万円)

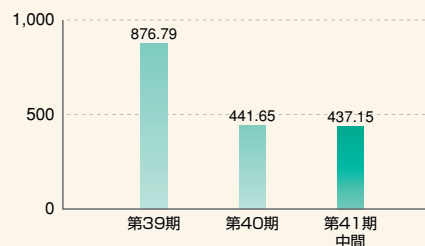


1株当たりの中間(当期)純利益 (単位:円)



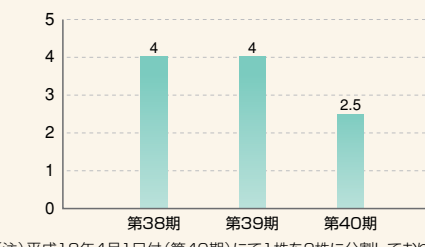
(注)平成18年4月1日付(第40期)にて1株を2株に分割しております。

1株当たりの純資産 (単位:円)



(注)平成18年4月1日付(第40期)にて1株を2株に分割しております。

1株当たりの配当金 (単位:円)



(注)平成18年4月1日付(第40期)にて1株を2株に分割しております。

■ 会社の概要

商号 株式会社 コンセック  
 英文名 CONSEC CORPORATION  
 設立 昭和42年11月6日  
 資本金 40億90百万円  
 従業員数 連結:387名 単独:243名  
 ホームページ <http://www.consec.co.jp>  
 連結子会社 祥建企業股份有限公司(台湾・三重市)  
 北斗電気工業株式会社(広島県呉市)  
 株式会社サン・ホクト(広島県呉市)  
 南通康賽克工程工具有限公司(中国・江蘇省南通市)  
 株式会社サンライフ(広島市西区)  
 株式会社デンサン(広島市南区)

主な事業内容 当社グループは次の物品の製造および仕入販売、コンクリート特殊工事ならびに不動産施設の賃貸等を行っております。

- 〔切削機具事業〕  
穿孔・切断機器、ダイヤモンド切削消耗品  
特注機、切削関連機具等
- 〔特殊工事事業〕  
アンカー工事、コアボーリング・カッター  
工事、ワイヤーソー工事、ジベル工事等
- 〔建設・生活関連品事業〕  
建設機械・工具、建設資材、住宅・OA機器  
生活関連機器等、不動産施設賃貸
- 〔その他の事業〕  
自動制御盤、配電盤、製缶、精密板金加工、  
介護サービス、ソフトウェアの開発および販  
売等

■ 株式の状況

発行可能株式総数 28,600,000株  
 発行済株式の総数 18,640,112株  
 株主数 1,495名  
 (前期末比54名増)

■ ネットワーク

本社 広島市西区商工センター四丁目6番8号  
 TEL(082)277-5451  
 支店 東京、大阪  
 営業所 札幌、仙台、横浜、名古屋、  
 岡山、広島、高松、福岡 他22ヶ所  
 工場 広島工場  
 物流センター 広島配送センター

■ 役員

代表取締役社長 佐々木 秀 隆  
 取締役 吉 本 文 雄  
 取締役 千 田 稔  
 取締役 福 田 多喜二  
 取締役 原 田 文 栄  
 取締役 三 中 達 雄  
 常勤監査役 國 本 純 男  
 監査役 加 藤 公 敏  
 監査役 中 元 正 彦